

会 議 等 出 席 連 絡 票

報告日:令和7年1月22日

報告者氏名	いわきケアマネ協会副会長 佐藤久美子
会議等名称	令和6年度 第2回高齢者生活安全部会
会議等主催	いわき市 保健福祉部 地域包括ケア推進課
会議等日時	令和7年1月22日(水) 14:00~15:30
会議等開催場所	いわき市総合保健福祉センター3階 栄養指導室
内 容	<p>(1)いわき市認知症施策推進計画について 「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」及び、 「認知症施策推進基本計画」を踏まえた、「いわき市認知症 施策推進計画(令和9年~11年度)」について</p> <p>【国が示す重点目標】</p> <p>①国民一人一人が「<u>新しい認知症観</u>」を理解している。 ↓ 認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が 個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら 希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方</p> <p>②認知症の人の生活においてその意思等が尊重されている ③認知症の人・家族等が他の人々と支えあいながら地域で安心して暮らすことができる ④国民が認知症に関する新たな知見や技術を活用できる</p> <p>【8つの柱】(いわき市)の柱</p> <p>①国民の理解の増進 ●ミーティングセンターよもの会 ●認知症サポーター養成講座 ●VR 認知症体験 ●アルツハイマーデー(月間)の普及啓発活動</p> <p>②認知症バリアフリー化の推進 ●チームオレンジ(スローショッピング)</p> <p>③認知症の人の社会参加の機会の確保等 ●ミーティングセンターよもの会 ●若年性認知症支援コーディネーターとの連携 ●デイサービスふくろう BLG いわきとの連携</p>

④認知症の人の意思決定支援、権利利益の保護

- 権利擁護・成年後見センターとの連携

⑤保健医療サービス及び福祉サービスの提供体制の整備等

- 高齢者生活安全部会 ●認知症初期集中支援チーム
- 認知症地域支援推進員の配置 ●認知症多職種協働研修会
- 徘徊高齢者家族支援サービス

⑥相談体制の整備等

- ものわすれ相談会 ●オレンジカフェ以和貴
- 認知症あんしんガイド配布

⑦研究等の推進等

- 認知症未来共創ハブへの参画

⑧認知症の予防等

- つどいの場創出事業

(2)認知症初期集中支援チームについて

①活動実績報告

②活動状況のまとめ(地域包括支援センターのチーム員との意見交換より)

- ・地域で支える多職種連携ができています。
- ・潜在的なケースを救い上げるための方法として、啓蒙活動や出張相談会等の実施。
- ・認知症の初期段階よりもファーストタッチの困難事例(家族の理解力が不足している、家族が障がい者など)が多い。
- ・病院に連れていくことができない困難事例が多い為、往診対応の医師がいれば、早期支援につながると思う。 …等

③今後の課題と方向性

◎重症化してから発見されたケースが、初期集中に上げられているため、重症化する前に発見する、さらなる方法や視点について検討していく。

◎地域包括支援センターより上げられた意見をもとに、ニーズに沿った必要な支援体制について検討していく。

(3)チームオレンジの活動状況報告・今後の課題と方向性

①平地区「チームブルー」の取り組み → 毎月1回スローショッピングの開催

- ・「認知症の方、ものわすれが気になる方」を前面に出すと参加者が集まらない
→周知の際に、参加しやすい表現にする
- ・回覧板等での周知 → 今後は、近くの介護事業所、ケアマネ、病院など、様々な機関に事業を周知していく。
- ・参加者は同じ方1名のみ。
- ・スーパーまでの移動手段がない → 今後、移動手段について検討を行う。

②小名浜地区「ふらっと大原」の取り組み

- 地域の「より所」開催
- カフェの運営・認知症の啓発について

(4)その他

●まごころサポートいわきあしび店からの紹介

- ①シニアの暮らしを見守る「マゴコロボタン」の機能及び使い方の説明
- ②「みまもりAI」を活用した「まごころ みまもり&サポート」の機能及び使い方の説明

※いわきケアマネ協会では、上記の内容を踏まえ、今後の定例研修会において、いわき市地域包括ケア推進課職員講師による、当市における認知症施策推進計画及び認知症初期集中支援チーム活動状況等をテーマにした研修会開催を予定しております。開催に際しては、案内周知させていただきたいと思っております。

◎いわきケアマネ協会会員の皆さん、多職種協働にて『認知症の人にやさしいまちづくり』を目指していきましょう。